

## 9 入院患者の転倒・転落発生率

### 10 65歳以上の入院患者における転倒・転落発生率

#### 指標の説明・定義

入院中の患者の転倒やベッドからの転落は少なくありません。原因としては、入院という環境の変化によるものや疾患そのもの、治療・手術などによる身体的なものなどさまざまなものがあります。それらの事例を分析することで、より転倒・転落発生要因を特定しやすくなり、予防策を実施して転倒・転落発生リスクを低減していく取り組みが、転倒による傷害予防につながります。

当院でも入院患者の8割以上が65歳以上であり、転倒・転落リスクの低減が重要です。

※「日本病院会 QIプロジェクト」より引用

#### 〔9 入院患者の転倒・転落発生率〕

分子 医療安全管理室へインシデント・アクシデントレポートが提出された転倒・転落件数

分母 入院延べ患者数

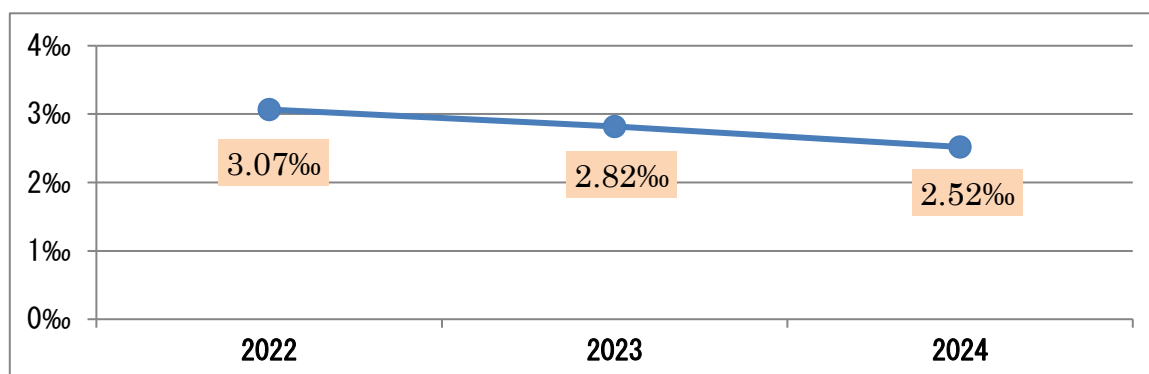
#### 〔10 65歳以上の入院患者における転倒・転落発生率〕

分子 医療安全管理室へインシデント・アクシデントレポートが提出された転倒・転落件数のうち、65歳以上の入院患者に発生した転倒・転落件数

分母 65歳以上の入院延べ患者数

#### 結果

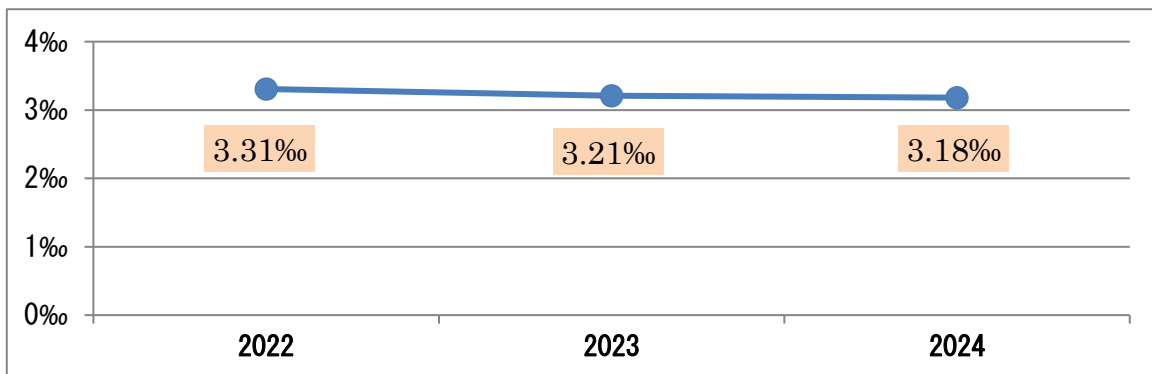
#### 〔9 入院患者の転倒・転落発生率〕



	2022年度	2023年度	2024年度
分子	394件	376件	346件
分母	128,464人	133,341人	137,329人

※‰ (パーミル: 1000分の1を1とする単位)

【10 65歳以上の入院患者における転倒・転落発生率】



	2022年度	2023年度	2023年度
分子	345件	346件	354件
分母	104,329人	107,839人	111,277人

※‰（パーミル：1000分の1を1とする単位）